

■ 海運業で栄えた浦々

奈良時代、石垣に遣唐使船が漂着するなど、古くから海上交通の拠点として利用されてきました。江戸時代から明治・大正時代には、石垣・水成川・大川の浦々は海運商人の屋敷が軒をつらね、瀬戸内海地域における商業の中心地でした。その繁栄の背景には、海上交通でもたらされる牛馬骨肥料とこの地域で栽培される菜種が存在しました。昭和になると、陸上交通の発達により海運業は衰退し漁船だけの港になりました。



(写真：石垣の船着場跡)

■ 平峰家のウンドン祭り

水成川の平峰家には、ウンドン(氏神)祭りで使われていた「富士巻狩図」が伝わっていました(現ミュージアム知覧所蔵)。幅40cm、長さ10mもある絵巻物(絵巻)で、部屋の3面の壁にかけて、天井からは魚をつるし、その中で神事を行っていました。同様の絵巻物(絵巻)は、知覧町門之浦と南さつま市金峰町でも発見されています。



(写真：富士巻狩図)

■ 別府地区にある神社

射備兵主神社(釜蓋神社)には、多くの参拝客が訪れます。釜蓋を頭に乘せるお参りが有名で、昔は、戦争に行く際の安全祈願として釜や鍋の蓋を合わせた下をくぐって家を出る風習や、離れて暮らす家族の無事を祈る「釜蓋参り(二十三夜待ち)」が行われていました。そのほか、集落の氏神をまつる殿方(ドンカタ)神社、漁業の神をまつる恵比須神社(エビスどん)、港を見下ろす場所にある戸柱神社があります。



(写真：釜蓋神社)

別府地区 地域の「お宝」マップ



遣唐使船の漂着地として、古くから海上交通で栄えた地域です。釜蓋神社や番所海岸は、多くの観光客でにぎわいます。



媽祖の画像



竜蓋大明神(釜蓋神社)棟札

- ① 山伏の墓(ヤンブイどん)
- ② 宝珠庵跡の地蔵尊像
- ③ 佐世保海軍通信隊瀬戸分遣隊地下壕跡
- ④ 殿方神社・ドンカタ山(耳原・番木・東水成川)
- ⑤ 水神(耳原・福留・吉崎)
- ⑥ 耳原六地藏塔
- ⑦ 早馬・馬頭観音(耳原・大川・南組・福留)
- ⑧ 恵比須神社・エビスどん(大川・南組・石垣)
- ⑨ 前瀬鼻灯台(大川)
- ⑩ 射備兵主神社(釜蓋神社)
- ⑪ 「伊能忠敬絶賛の地」碑
- ⑫ 番所鼻の溶結凝灰岩の塚状ブル群
- ⑬ 小川のわき水(岡村)
- ⑭ 三国名勝図会に描かれた「三瀑」
- ⑮ 水成川の船着場跡
- ⑯ 水成川の河童伝説
- ⑰ ギシヤマ
- ⑱ 「遣唐使船漂着地」碑
- ⑲ 石垣の船着場跡・メクイ
- ⑳ 石垣の商店街
- ㉑ お蔵の坂
- ㉒ 石垣の高礼場跡
- ㉓ 砲台跡・煙囪跡・お茶屋場跡
- ㉔ 児玉榮寿の胸像